

分家住宅許可申請に係る説明書及び念書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇土木事務所長 様

許可を受けた「分家住宅」は自己居住用で利用（入居）することを誓約し、他の第三者等が利用（入居）したときは、違反として処分されても異存はありません。

1住所・氏名 〇〇郡〇〇町大字〇〇15-1 年齢 38 歳
年齢・電話 〇〇 太郎 電 話(0276)〇〇-〇〇〇〇
住所・氏名 〇〇郡〇〇町大字〇〇15-1 年齢 38 歳
年齢・電話 〇〇 花子 電 話(0276)〇〇-〇〇〇〇

2職業又は勤務先所在地・名称 栃木県〇〇市〇〇町〇丁目12-1 〇〇建設(株)
職業又は勤務先所在地・名称 群馬県〇〇郡〇〇町大字〇〇36-〇 〇〇工業(株)

3家族状況（現在の住まいで同居している家族をすべて記載）

氏 名	続柄	生年月日	職業等	申請地に同居の有無
〇〇 次郎	本人	S54.10.20	会社員	有
〇〇 花子	本人	S54.10.22	パート	有
〇〇 〇朗	長男	H19.5.10	高校生	有
〇〇 〇朗	次男	H26.5.10	小学生	有
〇〇 〇朗	父	S30.9.10	無職	無
〇〇 太郎	兄	S50.6.10	会社役員	無

4現在住居の状況（土地及び建築物の所有者等記入）
土地所有者 〇〇 〇〇（祖父が所有）
住宅所有者 〇〇 〇郎（父が所有）

5分家住宅の建築費とその資金
住宅建築費 3,000万円
銀行より 2,000万円借入れ

6申請地に転居する理由、職業（職業とは今後の職業の勤め先等）
現在の住居では兄夫婦も同居しており、手狭であるため、新しく住宅を建築するものです。
今後も〇〇建設に勤務し、会社まで車で約30分です。

現在同居だが、分家建築後別居する場合は「無」とす

注 本書を提出した者の本人確認資料として「印鑑証明書」によらない資料を添付した場合には、押印を省略することができる。